



宝永小だより

No.15

福井市宝永小学校

令和8年10月8日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

2年生 「やさいってすごいな」の授業に臨む 9月18日(金)

この日、栄養教諭が来校し、2年生の子どもたちに「やさいってすごいな」という内容で、食に関する指導をしてくださいました。子どもたちは生活科の授業で、5月に自分が育てたい野菜を選び、プランターにその野菜の苗を植えて育てるとともに、観察を続けたり、収穫して家庭に持ち帰ったりしたこともあり、野菜を食べることの必要性について、自分事として考えることができていたようです。

子どもたちは栄養教諭から「給食で食べている野菜の量は、1食何グラムくらいあると思いますか」と尋ねられると、「50グラム」「100グラム」「200グラム」など、思い思いの数字を答えました。その後、栄養教諭から「約100グラムです」と正解が伝えられると、「100グラムも食べているのか」というような意外な表情を浮かべていました。さらに、栄養教諭から野菜を使った料理の写真が提示され、野菜のさまざまな調理方法を学びました。子どもたちは改めて「炒める」「煮る」「ゆでる」「揚げる」「なま」など、普段から野菜を色々な方法で調理して美味しく手軽に食べていることを感じ取れたことと思います。加えて、栄養教諭から100グラムの袋入りほうれん草をゆでると、小さなプラスチックのタッパーに入ってしまうことを実際に見せていただき、「かさが減る」と食べやすくなることも理解できました。子どもたちはこの授業を通して、野菜を食べると「目が見えやすい」「けがが治りやすい」「かぜをひきにくい」「肌がすべすべになる」「疲れにくい」などの良いことがあり、野菜を食べる必要性を強く感じていました。



＜野菜の様々な調理方法が紹介される＞

6年生 ふくいの魅力がお菓子に大変身2! 9月25日(金)

9月1日(火)に引き続き、宝永地区の老舗『御素麺屋』の和菓子職人の方をお招きして、前回の試食会でPRしていくこととなった改良版の『塩大福』と『とみつ金時さつまいもどら焼き』を披露していただきました。『塩大福』はこしあん入り・粒あん入り・とみつ金時さつまいもあん入りの3種類が、『とみつ金時さつまいもどら焼き』は塩を増量した1種類が子どもたちに分けられました。子どもたちはじっくりと時間をかけて試食し、その違いを味わっていきました。試食後は、感じ取った違いを言葉にしなが、意見交換を行いました。『とみつ金時さつまいもどら焼き』では、子どもたちがさつまいものあんど塩の加減について意見を交わし、今回の塩が多めの試作品を選択しました。また、焼き印の恐竜の足跡は「ドス、ドス、ドス」と3つ押すことに決まりました。一方、『塩大福』に関しては、「粒あんは塩を感じるが、こしあんは塩がうすいような気がする。」という意見にまとまり、「ふくいの魅力を伝えるには塩を感じる粒あんが良いけれども、誰でも食べられて好まれるのはこしあんだろう」と思案しました。その末、子どもたちは、こしあんにももう少し塩を増量することを、和菓子職人の方に依頼をしました。加えて、10月25日(日)に予定をしている宝永地区文化祭でのPR活動に向けて、2種類のお菓子のネーミングとパッケージデザインを早急に考えていく課題に取り組み始めています。



＜試食後の意見交換の様子＞

全校 「にこフレ弁当」を楽しむ 9月29日(火)

雨天のため校内運動会は延期になりましたが、子どもたちはお昼の時間に弁当・お茶・敷物をもって、にこフレ班で集まり、一緒に弁当を食べて楽しみました。6年生が会場となった部屋の床に敷物を引く場所を指示したり、5年生が1年生を迎えに行ったりして、にこフレ班ごとに指定の教室やルームに分かれることができました。子どもたちは大きな円隊形で向き合っ、校内運動会の学年種目や学団種目などを話題におしゃべりしながら弁当を食べました。全員が弁当を食べ終わると、多くのにこフレ班では翌日の校内運動会に向けて応援練習をして、気運を高めていました。結束を強める良い時間となりました。



＜にこフレ班で弁当を食べる様子＞

2年生 獣医さんから学ぶ 10月1日(木)

国語科「どうぶつ園のじゅうい」の学習の一環として、「足羽山公園遊園地」へ校外学習に行きました。子どもたちは、直接、動物園の獣医さんに、仕事内容や工夫、どんな気持ちで働いているのかなどを熱心に質問していました。その後、ウサギやニホンザル、カピバラ、ポニー、カラフルなインコなど、約60種の動物たちを間近で観察し、動物の息づかいや目の動きを感じ取ることができました。また、カピバラに餌をあげる際にはドキドキしたようですが、餌を食べてくれた瞬間、子どもたちは笑顔いっぱいになり、優しく接していました。



＜カピバラに餌をあげる様子＞

3年生 かまぼこづくりを体験する 10月2日(金)

社会科「工場のしごと」の学習の一環として「安田かまぼこ工場」へ校外学習に出かけました。「安田かまぼこ工場」では働いている方の苦労や工夫等、工場の説明を聴いた後、ガラス越しにかまぼこの製造工程を上部から見学し、様々な機械が動いていることも知りました。そして、案内の方からかまぼこの製造工程について説明があり、かまぼこの場合、すり身は上身と下身が別々の口金から出てきて一体となることを教えていただきました。また、連続して口金から出てくるすり身はベルトコンベア上に敷き詰められた製品サイズの板の上に乗って移動し、製品サイズごとにカットされていくことも教わりました。かまぼこの原型「蒲(がま)の穂」づくり体験では、「つけ包丁」という専用の道具を使って、竹の棒にすり身を巻き付けていきました。そして、表面を水で濡らして、表面のデコボコや形を整えました。この後の工程はスタッフの方に任せて、専用の機械で蒲の穂を10分ほど焼いてもらい、完成しました。さらに、出来立ての蒲の穂は粗熱をとって包装していただきました。この間、子どもたちは「ちくわ」の試食ができて、大満足でした。蒲の穂はお土産として、学校に持って帰りました。ご家庭で一緒に食べられましたか？



＜「蒲(がま)の穂」づくり体験＞

2年生 出前授業「おもちゃづくり」 10月2日(金)

生活科「うごく うごく わたしの おもちゃ」の学習の一環で、福井工業高等専門学校未来社会デザイン工学科の ○○○○ 教授、他6名をお招きして、「おもちゃづくり」を開催しました。「ゴムてっぽう」「ヨットカー」「空気ほう」「紙コップロケット」の4つのブースが設けられ、子どもたちは2つのブースを選択して、それぞれのおもちゃづくりに挑戦しました。「ゴムてっぽう」は、わりばしで発射台・引き金・持ち手をつくり、それぞれを輪ゴムで固定していきました。できあがると、子どもたちは射的を楽しみました。「ヨットカー」は、穴あきプラスチックボードに竹ひごを通して、ペットボトルのふたを車輪として取り付け、トレーを帆にして風の力で前進するおもちゃでした。できあがると、子どもたちは下敷きや内輪で力強く風を送って、「ヨットカー」を走らせていました。「空気ほう」は、①ペットボトルの真ん中よりも少し下あたりをハサミで切る ②ペットボトルの真ん中よりも少し下あたりをハサミで切る ③ゴム風船を伸ばしながら、飲み口のあるペットボトルにかぶせる ④ゴム風船をかぶせた部分にビニルテープを巻き付けて、しっかりと固定する と完成でした。できあがると、子どもたちは的に向かって、ペットボトルをしっかり持って、風船をつまんで引っ張り、風船を離すと、空気が押し出されて的が倒れ、大喜びでした。「紙コップロケット」は、①紙コップの口の方に4等分になるよう、4カ所切りこみを入れる ②輪ゴム2本を十字になるよう、4カ所の切りこみに引っかける ③紙コップにマジック等で、好きなデザインを描き込んで、ロケットの完成でした。できあがると、子どもたちは発射台となる(何もしていない)紙コップに、紙コップロケットをかぶせて、上の紙コップロケットをそのままグッと下までひっぱり、手を離すと、ビュンと飛んでいきました。子どもたちの真剣におもちゃづくりに取り組む姿と笑顔いっぱいでおもちゃ遊びをする姿を見ることができました。ゲストティーチャーの方々に心から感謝いたします。



＜真剣におもちゃづくりに取り組む様子＞



＜おもちゃ遊びを楽しむ様子＞

*本日、1学期の終業式を無事に迎えることができました。お陰様で、子どもたちは元気に学校生活を送ることができました。地域・保護者の皆様のご理解とご協力に感謝します。保護者の皆様は、本日、お子様にお渡しした1学期の通知表「あゆみ」を、ご覧いただけたでしょうか。学校生活のあらゆるところで、子どもたちの頑張りが見られました。是非、お子様の1学期の頑張りを褒めてあげてください。

*10月14日(水)から2学期が始まります。ご家庭でも、1学期を振り返った上で、2学期のめあてを話し合っていたいただくと幸いです。2学期の子どもたちの頑張りと成長にも期待しています。